

「横川中学校の史跡探訪の取組」

1. 学校名	霧島市立横川中学校
2. 学年・人数	1年生 17人, 2年生 19人, 3年生 21人
3. 日時・場所	<p>(1) 郷土学習（総合的な学習の時間）【対象：1年】 令和7年7月12日(土) 郷土学習（講師招聘） 令和7年9月18日(木) よっがわ巡り（フィールドワーク）</p> <p>(2) 文化祭 創作劇「横太とガワえもんの横川めぐり」 令和7年10月24日（金）【対象：1年】</p> <p>(3) 山ヶ野ウォーキング大会 令和8年1月16日（金）事前学習（学校）【対象：1・2年】 令和8年2月14日（土）事前学習（現地）【対象：1・2年】 令和8年2月15日（日）当日【対象：1・2年希望者】</p>
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	<p>(1) 名称・時代について 山ヶ野金山(やまがのきんざん)：江戸時代～昭和時代 横川城跡(よこがわじょうあと)：中世 大隅横川駅(おおすみよこがわえき)：明治時代～ 木浦権現(きうらごんげん)：時代等不明</p> <p>(2) 特徴について 山ヶ野金山は、霧島市横川町からさつま町にかけて広がる金山で、江戸時代初めの1640年に発見された。毎年「山ヶ野ウォーキング大会」が開催されており、横川中学校の生徒もボランティアとして説明班に参加している。横川校区には、県内最古の木造駅舎である大隅横川駅や明治時代からの建物が残されている。特に国の登録有形文化財が2棟残されているほか、多数の指定文化財を有している。</p>
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>持続可能な取組となるように、学校運営協議会委員、山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会、山ヶ野地区自治公民館長、霧島市役所横川総合支所等の協力を得て、地域と行政と学校が連携し取り組んでいる。</p>
6. 取組の様子(研究発表等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>横川郷土館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>安良神社</p> </div> </div>
7. 感想・意見(参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	<p>本校では、学校教育目標に「地域とともに育てる学校」を掲げ、地域への理解と愛着を深める学習を大切にしています。生徒が自らの生活の基盤である郷土を知り、地域の方々と関わりながらその価値を再発見していくことは、将来の地域社会を担う人材を育てるうえで欠かせない学びです。本校は今後も、地域の皆様とともに、生徒一人一人が郷土を理解し、誇りをもって未来を切り開いていく力を育ててまいります。</p>